

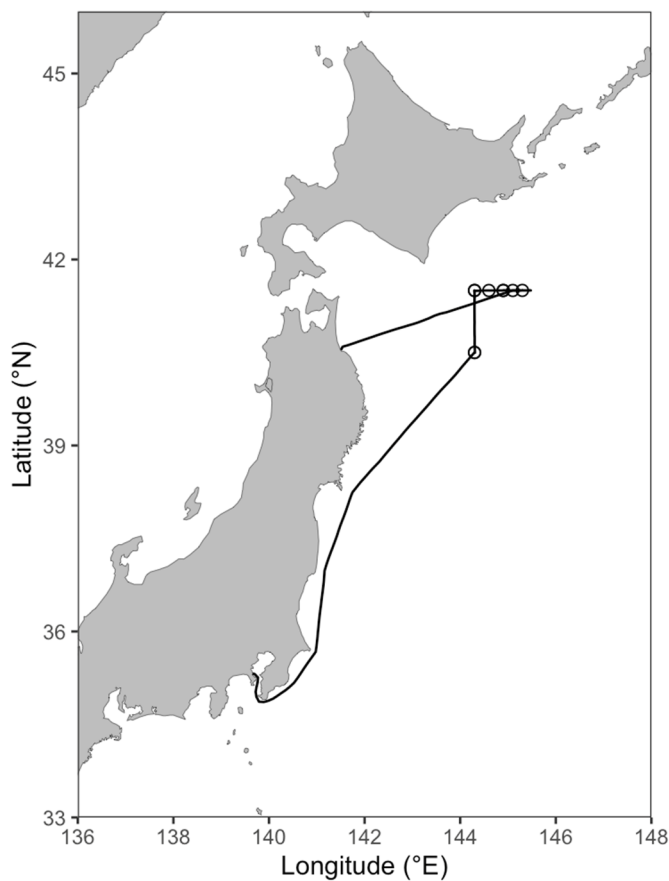
新青丸共同利用研究航海報告書

- * 航海番号 KS-23-13次研究航海
- * 航海名称 (和文) 夏季の海水昇温現象が親潮域低次栄養段階生物群に与える影響の解明
(英文) Impacts of marine heat wave on low-trophic organisms in the Oyashio region
- * 観測海域 (和文) 北海道親潮域
(英文) Oyashio region off Hokkaido
- * 航海期間 令和5年8月16日(水)～令和5年8月21日(月)
- * 出港日時・場所 8月16日14時横須賀港
- * 入港日時・場所 8月21日10時八戸港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 研究課題 親潮域の低次栄養段階生物(プランクトン群集)に夏季の昇温が与える影響を高解像度で明らかにする。
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)
高橋一生・東京大学大学院農学生命科学研究科・教授・kazutakahashi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス), 観測項目
 1. 現場海域の物理・化学・生物環境測定
児玉武稔(takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)
CTD 観測及び採水により、水温、塩分、クロロフィル *a* 濃度、植物プランクトン群集組成、栄養塩濃度、基礎生産速度、窒素取り込み速度(窒素固定、硝酸塩塩取り込み)、被食速度を測定した。
 2. 航跡上の表面環境測定
児玉武稔(takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)、
表層環境モニタリング装置(AMEMB0)および採水により航跡上の表面水温、塩分、クロロフィル濃度、栄養塩濃度を測定した。
 3. 動物プランクトン現存量・生理的特性の測定
児玉武稔(takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)、
NORPAC ネット、飼育ネット、鉛直曳き多層ネットにより動物プランクトンの現存量を測定し、一部の個体は、食性解析、生理活性解析に利用した。

* 乗船研究者氏名・所属・職名

高橋一生・東京大学大学院農学生命科学研究科・教授
児玉武稔・東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授
一宮睦夫・熊本県立大学環境共生学部・教授
岩滝光儀・東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授
Camilla Svensen・東京大学大学院農学生命科学研究科・客員教授
Maria Koski・東京大学大学院農学生命科学研究科・客員研究員
桑田向陽・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生
平山 耕太郎・東京大学大学院理学系研究科・大学院生
松田 竜・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生
船木千帆・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生
WANG Yixin・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生
千田唯乃・東京大学大学農学部・学部生
佐藤拓哉・京都大学化学研究所・学振特別研究員
増田貴子・水産研究・教育機構 水産資源研究所・主任研究員

* 航跡・測点図



実線が航跡図、白丸が観測点（計6測点）